

「特許行政年次報告書2019年版」について

～知財の視点から振り返る平成という時代～

特許庁総務部企画調査課企画班
調査係長 飯濱 翔太郎

特許庁は、2019年7月12日に、「特許行政年次報告書2019年版」を公表しました。本稿では、第I章において、その概要等、第II章において、冒頭で特集しました『知財の視点から振り返る平成という時代』について紹介いたします。

I. 「特許行政年次報告書2019年版」について

1. 概要

「特許行政年次報告書」とは、知的財産制度を取り巻く現状と方向性、国内外の動向と分析について、直近の統計情報、特許庁の取組等をもとに取りまとめたものです。「特許行政年次報告書2019年版」においては、第1部で、国内外の出願・登録状況や審査・審判の現状等、知的財産をめぐる動向を紹介し、第2部で、特許庁の取組を特許、意匠、商標、審判の別に紹介するとともに、知的財産活動を活発化し、イノベーションを促進するための各種支援・施策を紹介し、第3部で、知的財産をめぐる国際的な動向、グローバルな知的財産環境の整備に向けた特許庁の取組、世界各国の知的財産制度の動向等を紹介しています。加えて、「コラム」として、話題性のあるテーマや、スタートアップ経営者、大学研究者、個人発明家に焦点を当てた内容を掲載しています。また、別冊の特許行政年次報告書2019年版〈統計・資料編〉では、本報告書中の図表等の基礎となる統計情報を含め、知的財産に関する各種統計・資料を紹介しています。

【「特許行政年次報告書2019年版」の主要構成】

冒頭特集 知財の視点から振り返る平成という時代

第1部 知的財産をめぐる動向

- 第1章 国内外の出願・登録状況と審査・審判の現状
- 第2章 企業等における知的財産活動
- 第3章 中小企業・地域における知的財産活動
- 第4章 大学等における知的財産活動
- 第5章 分野別に見た国内外の出願動向

第2部 特許庁における取組

- 第1章 特許における取組
- 第2章 特許における取組
- 第3章 意匠における取組
- 第4章 商標における取組
- 第5章 審判における取組